

IRを学んで隠れ優良株を発掘 ～「全集中、アイアールの呼吸」とは～

※当資料のデータ、内容はすべて日本経済新聞社(株)および著者に帰属し、いかなる場合も許可なく無断での使用、複製等を禁じます



ラインナップ

<プロローグ>

みなさまは理想的な投資家の「鏡」です！

<①定義と趣旨>

すみません、アイアールって要するになんですか？

<②IRとPR>

経営や戦略の宣伝というより適宜適切な投資機会の提供

<③サプライズ決算の真実>

「大幅上方修正で株価急伸」は万歳拍手称賛か

<④IRフェアで優良株は探せるか>

会社の狙いを忖度、PRだったらハッピー！？

<⑤「全集中、IRの呼吸」とは>

一方通行の受け身型聴講スタイルはNG

<⑥エピローグ・後半について>

前半まとめと日経会社情報、ここだけの活用法



すみません、アイアールってなんですか？

<例：中学校の期末試験>

70点の見込み、を親に報告

- ・「ほとんどできた」⇒親「90点超えか？」⇒失望
- ・「全然だめだった」⇒親「50点ほどか？」⇒高評価
- ・「ぼちぼちでんな」⇒親「70点前後か？」⇒驚きなし

子供＝会社、親＝投資家

期待値の醸成＝IR

(情報開示は手段に過ぎない)

⇒ ×情報の説明 ○情報を織り込ませる



「サプライズ決算」ってなに？

リスク要因を伝えてない・伝わらない

⇒投資家の見込み違い(サプライズの発生)

⇒早急な評価修正、買い増しか処分か

⇒短期資金選好

⇒株価が激しく動く(ブレ= β =が拡大)

⇒大きいリスク許容度を要求

⇒中長期保有に難色(保有なら応分のリターン)

⇒リターンに見合う高いROEを実現

⇒株主資本にかかるコスト高

⇒IR失敗



投資家からみたIRの巧拙

○「赤字決算だったが、会社がにおわせていたのであまり驚きはない」

○「増益の見込みを指摘していたので保有継続で正解だった」

×「一転下方修正？ なんの前触れもなかったし狼狽している」

×「先行き不透明だと説明していたので売ったら上方修正を発表した」



優良株探せる？逆の立場で考えよう

【結論】

隠れ優良株が眠っている可能性は高いが違う趣旨も・・・

【狙いを忖度】

出展コスト＝慈善事業ではなくビジネス

■企業価値埋没（B2B系、メディアの限界）⇒「割安のPR？」

■個人に秋波

①株主数が少ない＝上場基準対応

②株価安定＝短期売買型ではなく中長期保有型

③流動性リスク引き下げ＝法人マネーや指数採用

■ブランディング

SDGs、事業ドメインの周知、知名度向上など

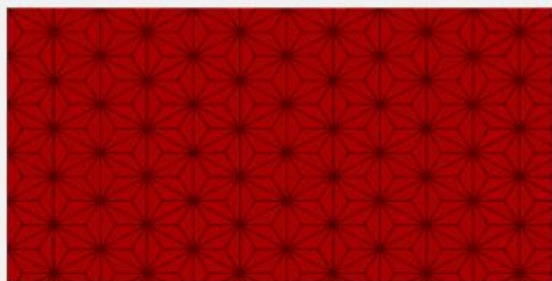


「全集中、IRの呼吸」とかけて何と解く？

○対話
△質疑
×聴講

<要するに…>

- ・投資家の不安や不満、問題意識をぶつける
- ・会社説明会型(受け身)聴講はNG、自分が面接官
- ・日常的な経済環境や社会現象の知見蓄積が前提



鬼滅の刃

5日騰落率 -1.93%

銘柄数 16

出所: QUICK

<サンプル>

- ・「ライバル社と比較できないがシェアは？」
- ・「カタカナと略語多すぎ、意味不明」
- ・「〇〇達成は公約なのか意気込みなのか」
- ・「3年後の達成というが年内でしょ」
- ・「SDGs って言うけど定量的データは？」
- ・「いいことづくめのバラ色。下振れ要因は？」
- ・「個人株主歓迎4点パックの認識、方針」
- ・「優待内容が貧弱なんだけど、、、」



前半のまとめと後半の内容

- IRの目的は株価の期待値形成と適切な投資機会提供
- 「サプライズ」が大きくなるほど評価できないIR
- 「企業価値の埋没」メッセージが届いたら有望割安株
- 受け身ではなく不満や不安、問題意識をぶつける

- IRフェア、QUICKコンセンサスのここを注視
- 隠れ優良株、投信でカンニング作戦
- β 値で銘柄の性格を知る
- 決算短信を図解リポート、ツイッターでも配信
- 材料が見える！スマートチャートプラスで攻略

